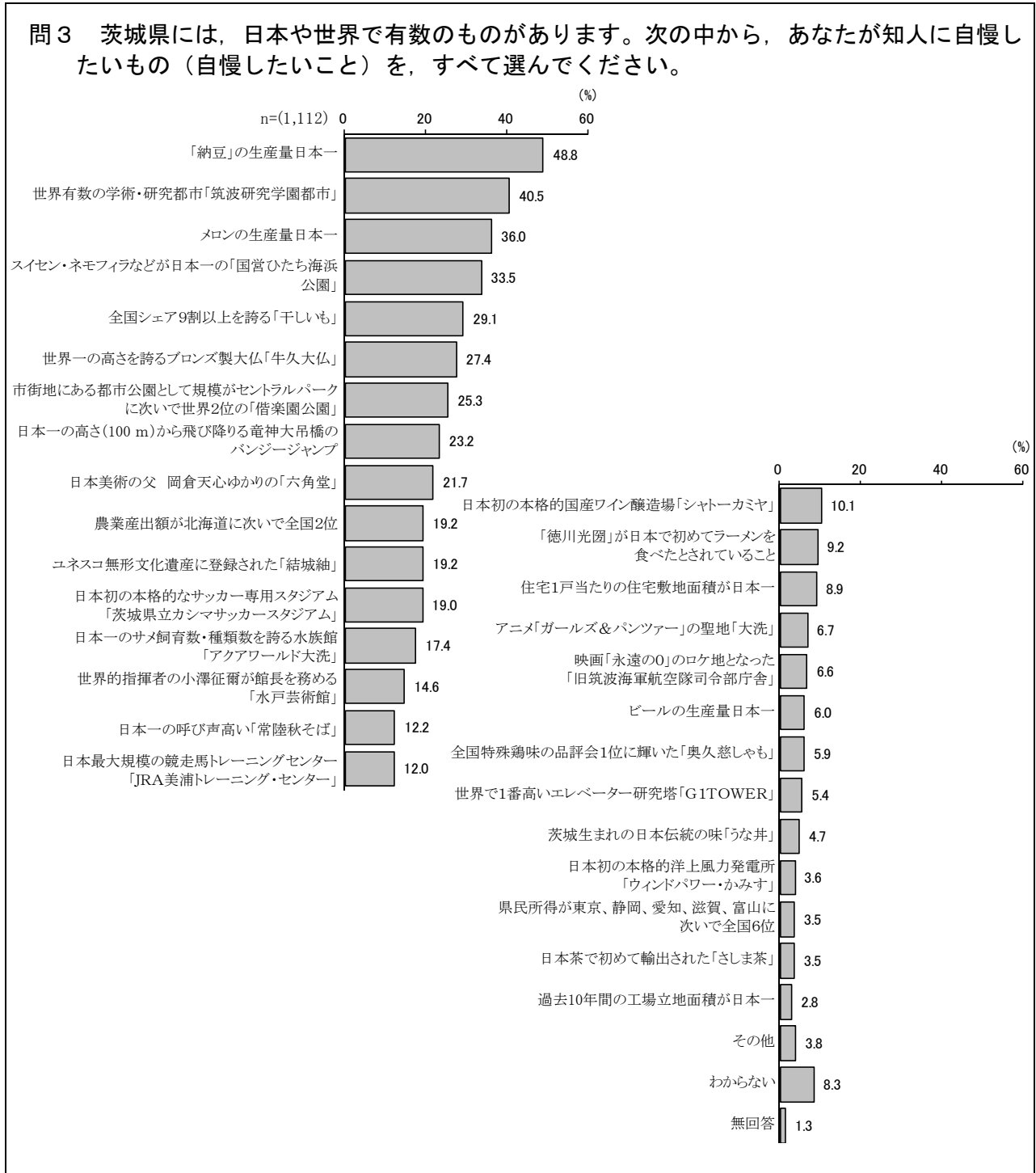


II 茨城県民の郷土愛

1. 茨城県の魅力

(1) 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

- 「納豆」の生産量日本一が約5割-



知人に自慢したいもの（自慢したいこと）としては、「納豆」の生産量日本一（48.8%）が約5割と最も高く、次いで、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」（40.5%）が約4割、「メロンの生産量日本一」（36.0%）、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」（33.5%）が3割台で続いている。

ー県央で「納豆」の生産量日本一が約6割ー

地域別でみると、「納豆」の生産量日本一は、県央（57.4%）で約6割と最も高くなっている。

ー県南で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」が5割台半ばー

地域別でみると、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」は、県南（53.2%）で5割台半ばと最も高くなっている。

ー県央で「メロンの生産量日本一」と「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」が約5割ー

地域別でみると、「メロンの生産量日本一」（50.8%）と「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」（47.0%）は、県央で約5割と高くなっている。

ー県北と県央で「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」が4割台前半ー

地域別でみると、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」は、県北（40.9%）と県央（42.1%）で4割台前半と高くなっている。

ー女性で「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」が男性よりも約18ポイント高いー

性別でみると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」は、女性（42.5%）が男性（24.6%）よりも約18ポイント高くなっている。

ー20代で「世界一の高さを誇るブロンズ製大仏「牛久大仏」が約4割ー

年齢別でみると、「世界一の高さを誇るブロンズ製大仏「牛久大仏」は、20代（39.1%）で約4割と最も高くなっている。

ー60代と70歳以上で「市街地にある都市公園として規模がセントラルパークに次いで世界2位の「偕楽園公園」が約3割ー

年齢別でみると、「市街地にある都市公園として規模がセントラルパークに次いで世界2位の「偕楽園公園」は、60代（30.6%）と70歳以上（31.3%）で約3割と高くなっている。

ー男性の50代、60代、70歳以上で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」が4割台後半ー

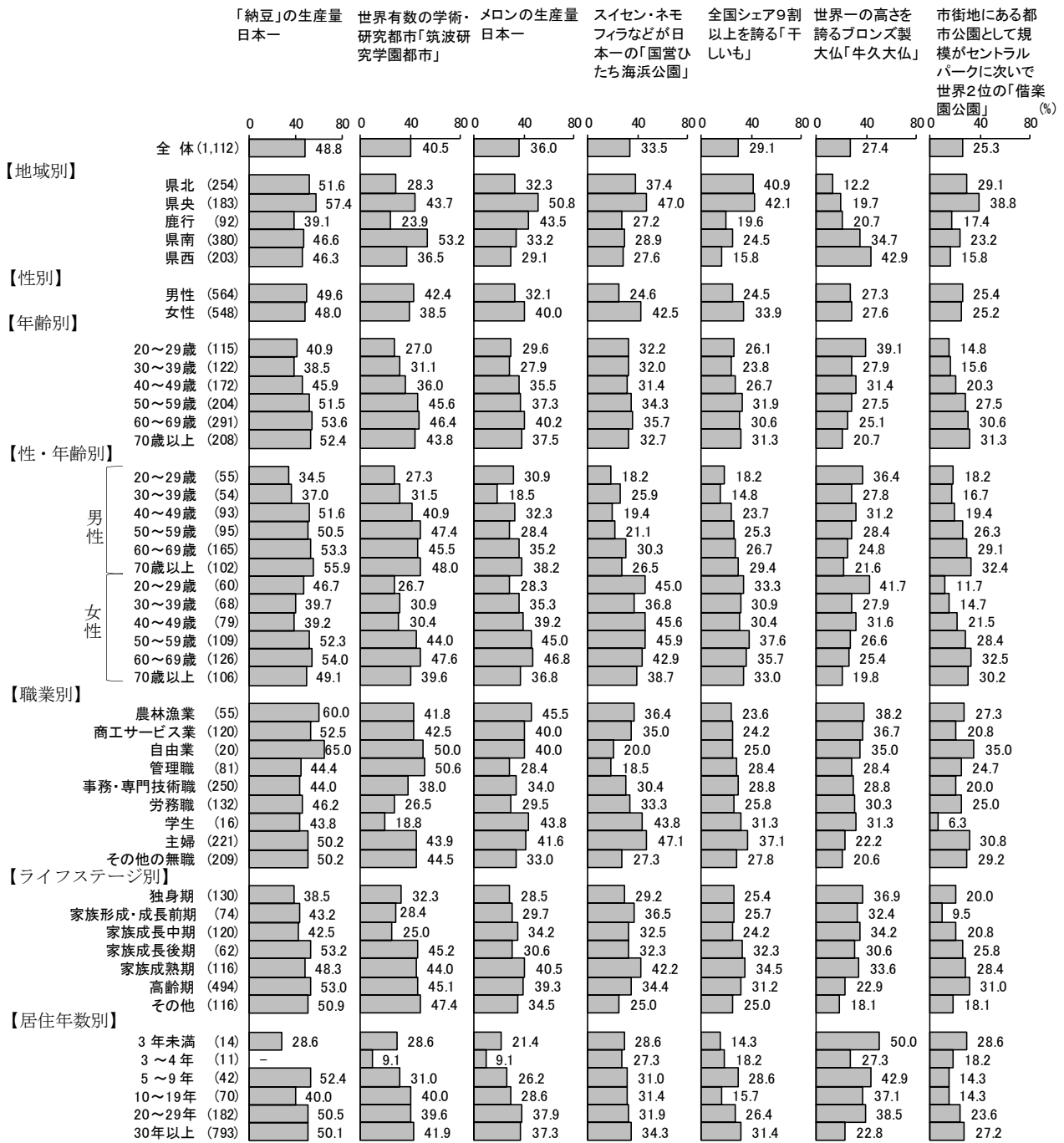
性・年齢別でみると、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」は、男性の50代（47.4%）、60代（45.5%）、70歳以上（48.0%）で4割台後半と高くなっている。

ー女性の50代と60代で「メロンの生産量日本一」が4割台半ばー

性・年齢別でみると、「メロンの生産量日本一」は、女性の50代（45.0%）と60代（46.8%）で4割台半ばと高くなっている。また、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」も、女性の50代（37.6%）と60代（35.7%）で3割台後半と高くなっている。

図Ⅱ 3-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

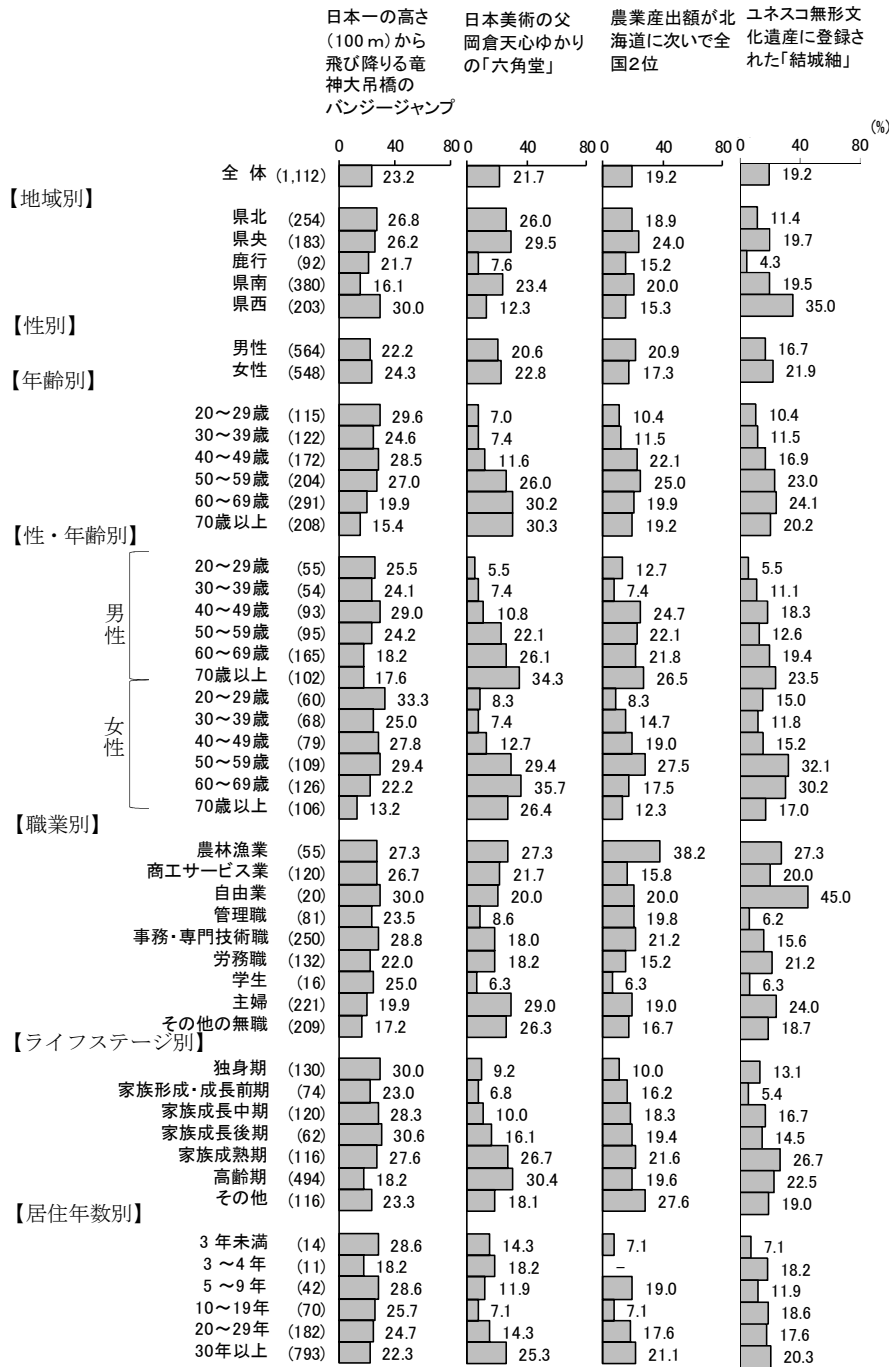
（地域別、性別、年齢別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別、居住年数別—上位11項目）



（注）回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

〈続き〉 図Ⅱ 3-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

（地域別，性別，年齢別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別，居住年数別—上位11項目）

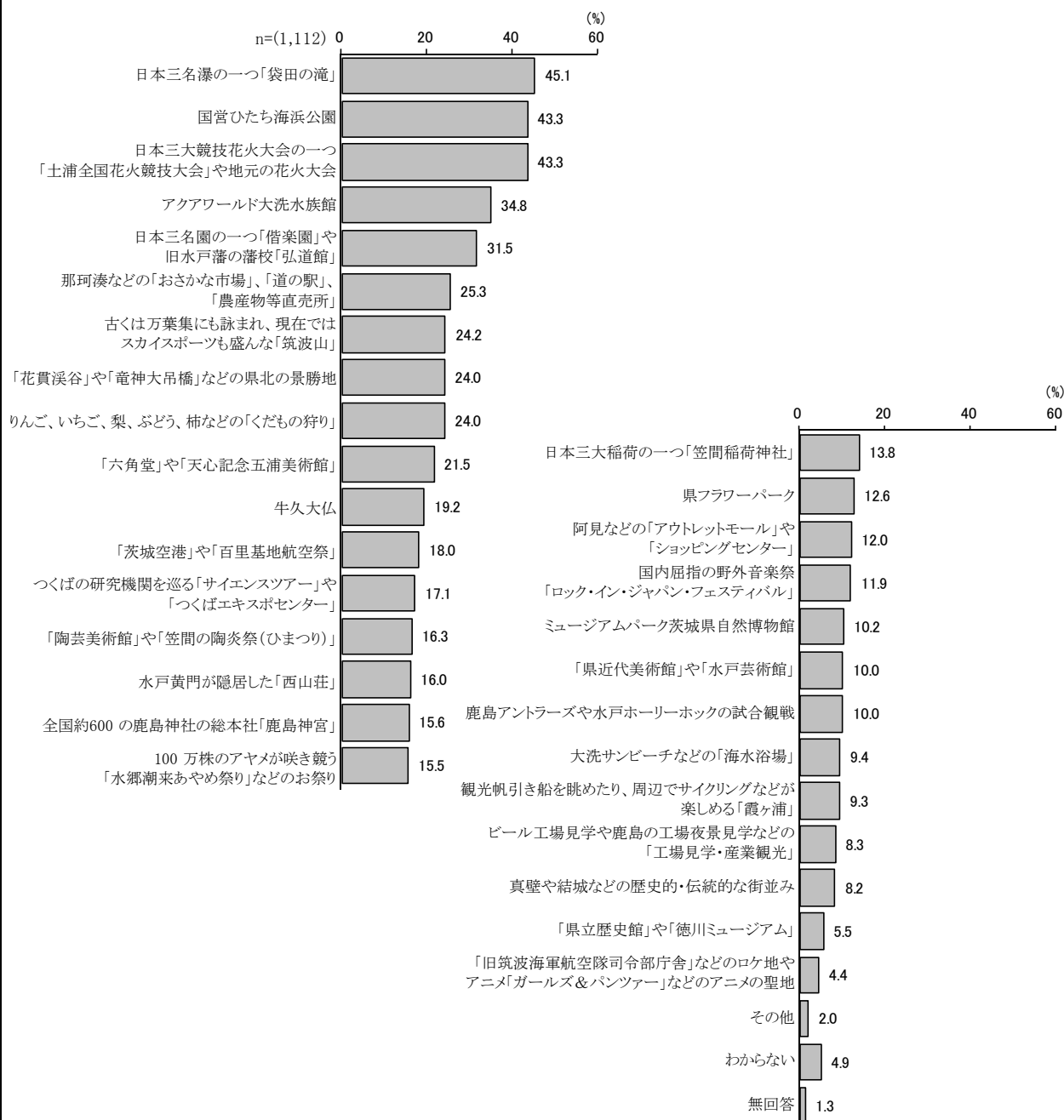


（注）回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 自分で行きたいところや家族や知人を連れて行きたいところ

－「日本三名瀑の一つ「袋田の滝」,「国営ひたち海浜公園」,「日本三大競技花火大会の一つ「土浦全国花火競技大会」や地元の花火大会」が4割台半ば－

問4 県内で、あなたが自分で行きたいところや、家族や知人を連れて行きたいところはどこですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



自分で行きたいところや、家族や知人を連れて行きたいところとしては、「日本三名瀑の一つ「袋田の滝」(45.1%)、「国営ひたち海浜公園」(43.3%)、「日本三大競技花火大会の一つ「土浦全国花火競技大会」や地元の花火大会」(43.3%)が4割台半ばと高くなっている。次いで、「アクアワールド大洗水族館」(34.8%)と「日本三名園の一つ「偕楽園」や旧水戸藩の藩校「弘道館」」(31.5%)が3割台で続いている。

ー県央で「日本三名瀑の一つ「袋田の滝」,「国営ひたち海浜公園」,「日本三名園の一つ「偕楽園」や旧水戸藩の藩校「弘道館」」が約5割ー

地域別でみると、県央で「日本三名瀑の一つ「袋田の滝」(49.2%)、「国営ひたち海浜公園」(53.6%)、「日本三名園の一つ「偕楽園」や旧水戸藩の藩校「弘道館」」(47.0%)が約5割と高くなっている。

ー県南と県西で「日本三大競技花火大会の一つ「土浦全国花火競技大会」や地元の花火大会」が約5割ー

地域別でみると、「日本三大競技花火大会の一つ「土浦全国花火競技大会」や地元の花火大会」は、県南(49.7%)と県西(49.8%)で約5割と高くなっている。

ー県央と鹿行で「アクアワールド大洗水族館」が4割台前半ー

地域別でみると、「アクアワールド大洗水族館」は、県央(41.0%)と鹿行(43.5%)で4割台前半と高くなっている。

ー女性で「国営ひたち海浜公園」が男性よりも約13ポイント高いー

性別でみると、「国営ひたち海浜公園」は、女性(49.8%)が男性(36.9%)よりも約13ポイント高くなっている。また、「りんご、いちご、梨、ぶどう、柿などの「くだもの狩り」」は、女性(29.2%)が男性(19.0%)よりも約10ポイント高くなっている。

ー40代で「日本三大競技花火大会の一つ「土浦全国花火競技大会」や地元の花火大会」が5割超ー

年齢別でみると、「日本三大競技花火大会の一つ「土浦全国花火競技大会」や地元の花火大会」は、40代(52.3%)で5割を超えて最も高くなっている。

ー70歳以上で「日本三名園の一つ「偕楽園」や旧水戸藩の藩校「弘道館」」が4割台半ばー

年齢別でみると、「日本三名園の一つ「偕楽園」や旧水戸藩の藩校「弘道館」」は、70歳以上(43.3%)で4割台半ばと最も高くなっている。

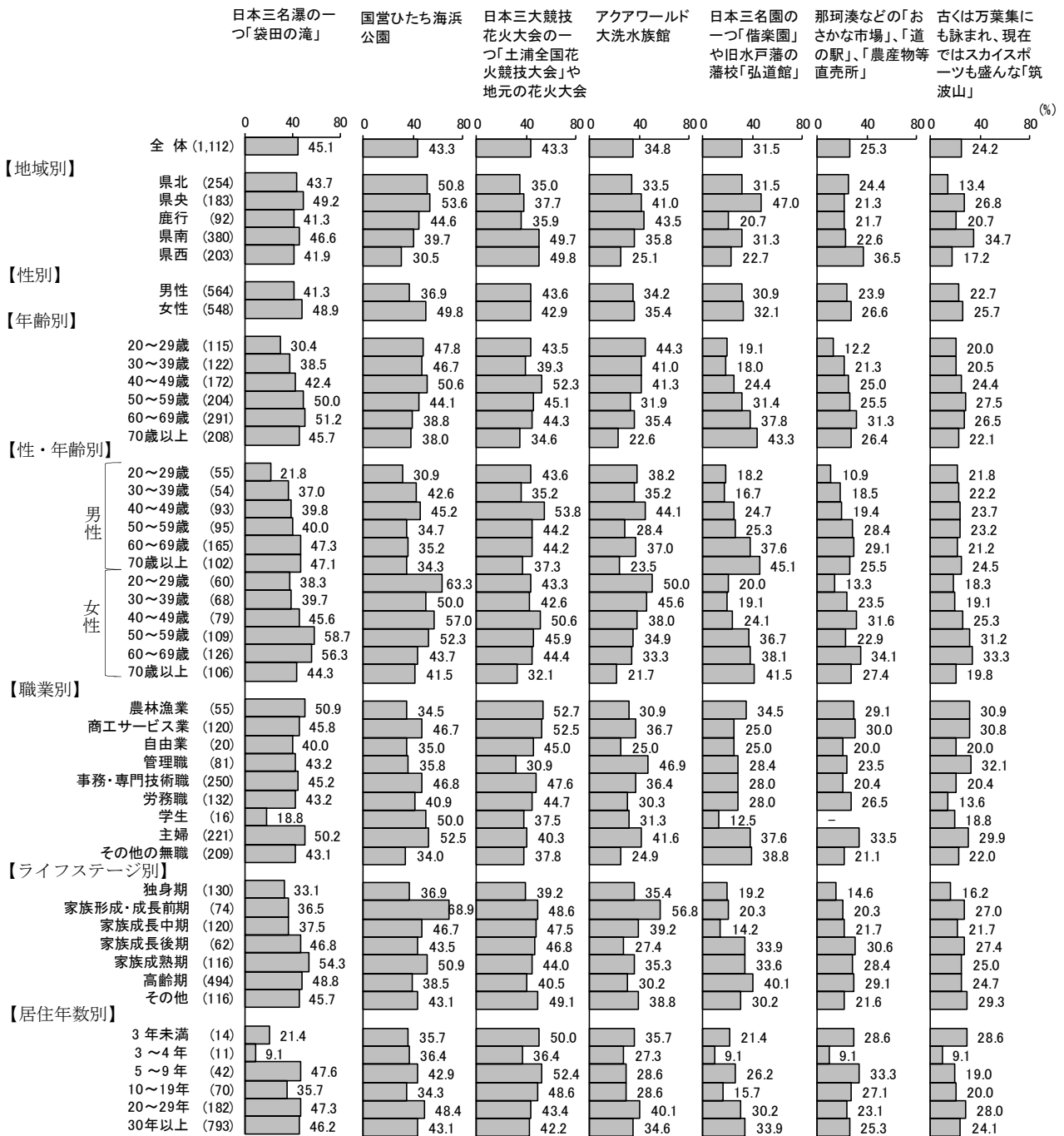
ー女性の50代と60代で「日本三名瀑の一つ「袋田の滝」」が5割台後半ー

性・年齢別でみると、「日本三名瀑の一つ「袋田の滝」」は、女性の50代(58.7%)と60代(56.3%)で5割台後半と高くなっている。

ー女性の20代で「国営ひたち海浜公園」が6割台半ばー

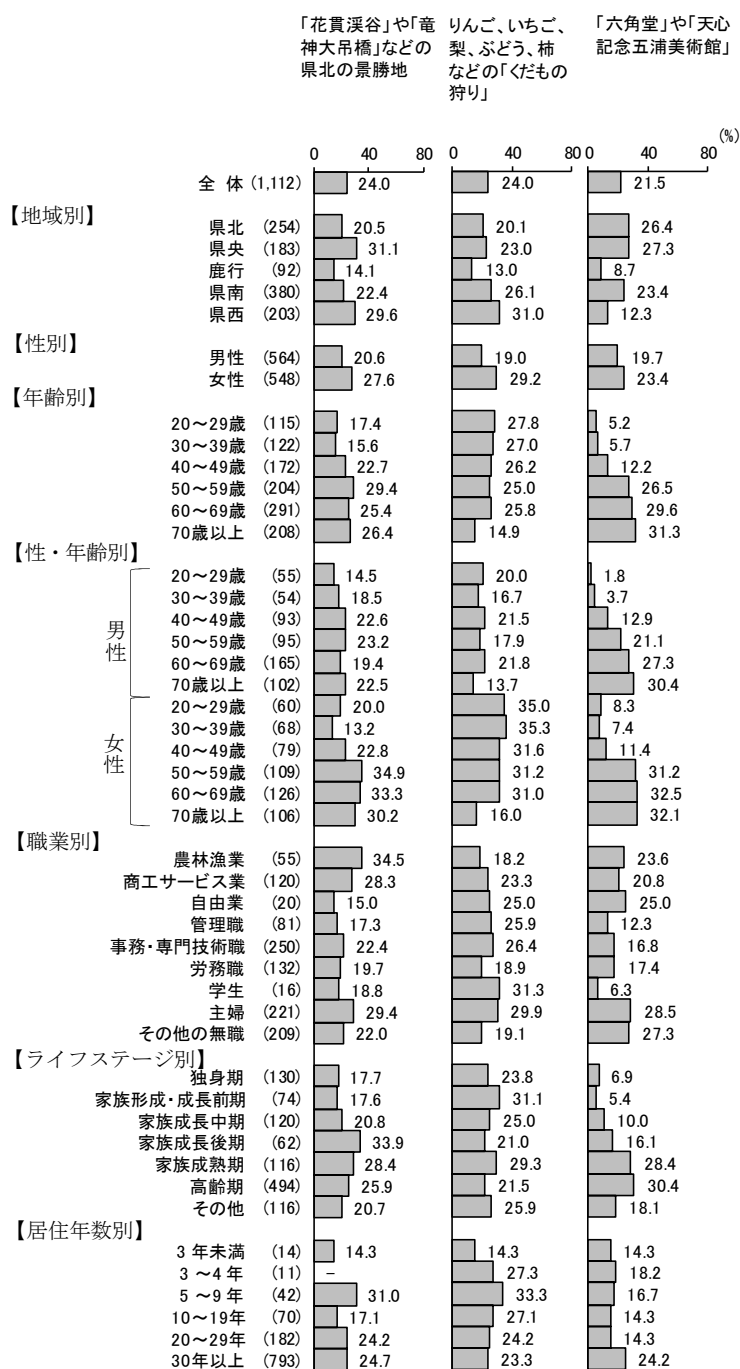
性・年齢別でみると、女性の20代は、「国営ひたち海浜公園」(63.3%)が6割台半ばと最も高く、次いで、「アクアワールド大洗水族館」(50.0%)が5割と高くなっている。

図Ⅱ 4-1 自分で行きたいところや家族や知人を連れて行きたいところ
(地域別, 性別, 年齢別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位10項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

〈続き〉 図Ⅱ 4-1 自分で行きたいところや家族や知人を連れて行きたいところ
 (地域別, 性別, 年齢別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位10項目)

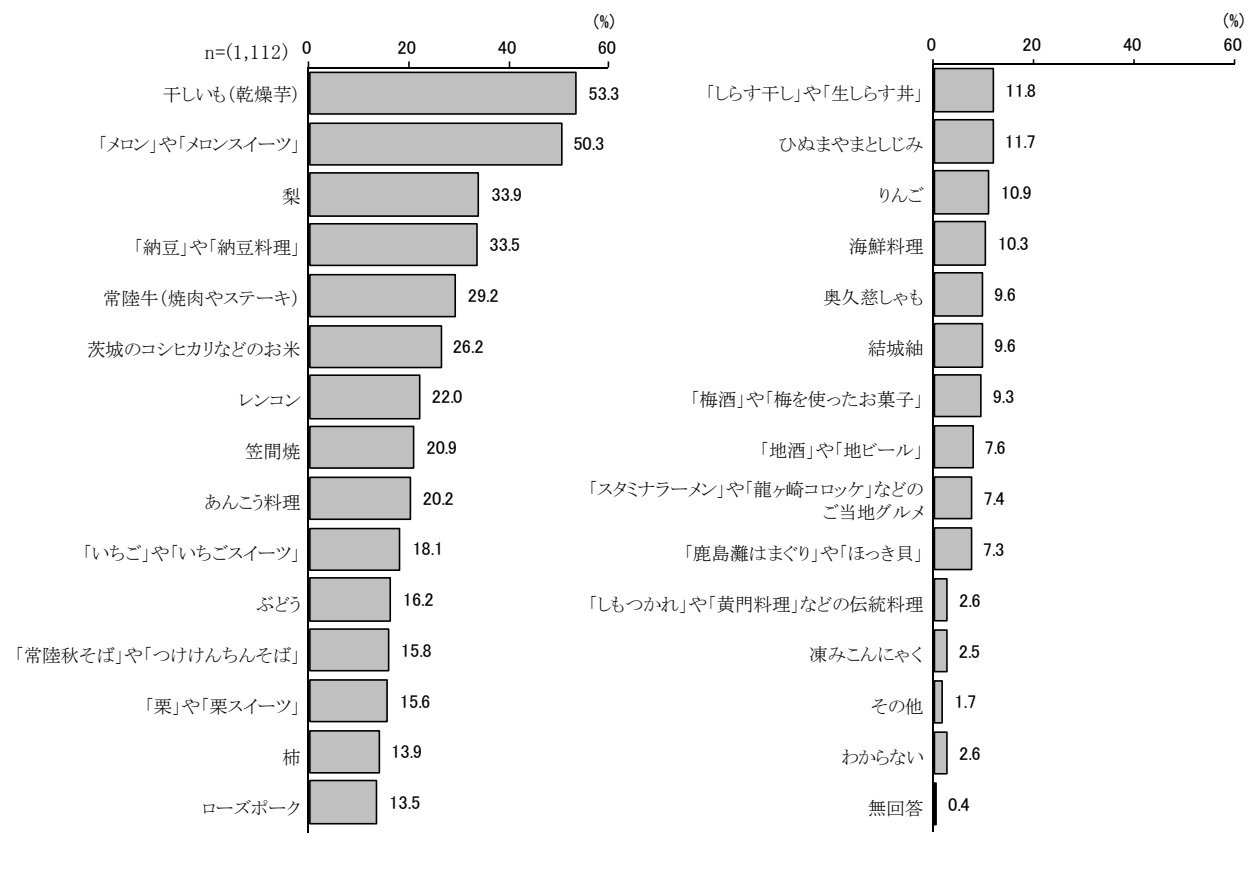


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(3) 自分で購入したり，家族や知人に薦めたい食べ物やお土産

－「干しいも」と「メロン」や「メロンスイーツ」が5割台前半－

問5 あなたが，自分で購入したり，家族や知人にお薦めしたい食べ物やお土産は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで下さい。



自分で購入したり，家族や知人にお薦めしたい食べ物やお土産としては，「干しいも」(53.3%)と「メロン」や「メロンスイーツ」(50.3%)が5割台前半と高くなっている。次いで，「梨」(33.9%)と「納豆」や「納豆料理」(33.5%)が3割台で続いている。

ー県北と県央で「干しいも」が7割超ー

地域別でみると、「干しいも」は、県北（72.8%）と県央（72.7%）で7割を超えて高くなっている。

ー県央で「メロン」や「メロンスイーツ」が6割超ー

地域別でみると、「メロン」や「メロンスイーツ」は、県央（62.3%）で6割を超えて最も高くなっている。また、「納豆」や「納豆料理」も、県央（46.4%）で4割台半ばと最も高くなっている。

ー県南と県西で「梨」が概ね4割台半ばー

地域別でみると、「梨」は、県南（42.6%）と県西（45.8%）で概ね4割台半ばと高くなっている。

ー県南で「レンコン」が約4割ー

地域別でみると、「レンコン」は、県南（40.5%）で約4割と最も高くなっている。

ー女性が男性よりも「干しいも」が約14ポイント、「メロン」や「メロンスイーツ」が約11ポイント高いー

性別でみると、「干しいも」は、女性（60.4%）が男性（46.5%）よりも約14ポイント高くなっている。また、「メロン」や「メロンスイーツ」は、女性（55.8%）が男性（44.9%）よりも約11ポイント高くなっている。

ー60代で「茨城のコシヒカリなどのお米」が3割台半ばー

年齢別でみると、「茨城のコシヒカリなどのお米」は、60代（33.7%）で3割台半ばと最も高くなっている。

ー女性の50代で「メロン」や「メロンスイーツ」が6割台半ばー

性・年齢別でみると、「メロン」や「メロンスイーツ」は、女性の50代（65.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。

ー女性の40代と50代で「納豆」や「納豆料理」が4割台前半ー

性・年齢別でみると、「納豆」や「納豆料理」は、女性の40代（43.0%）と50代（42.2%）で4割台前半と高くなっている。

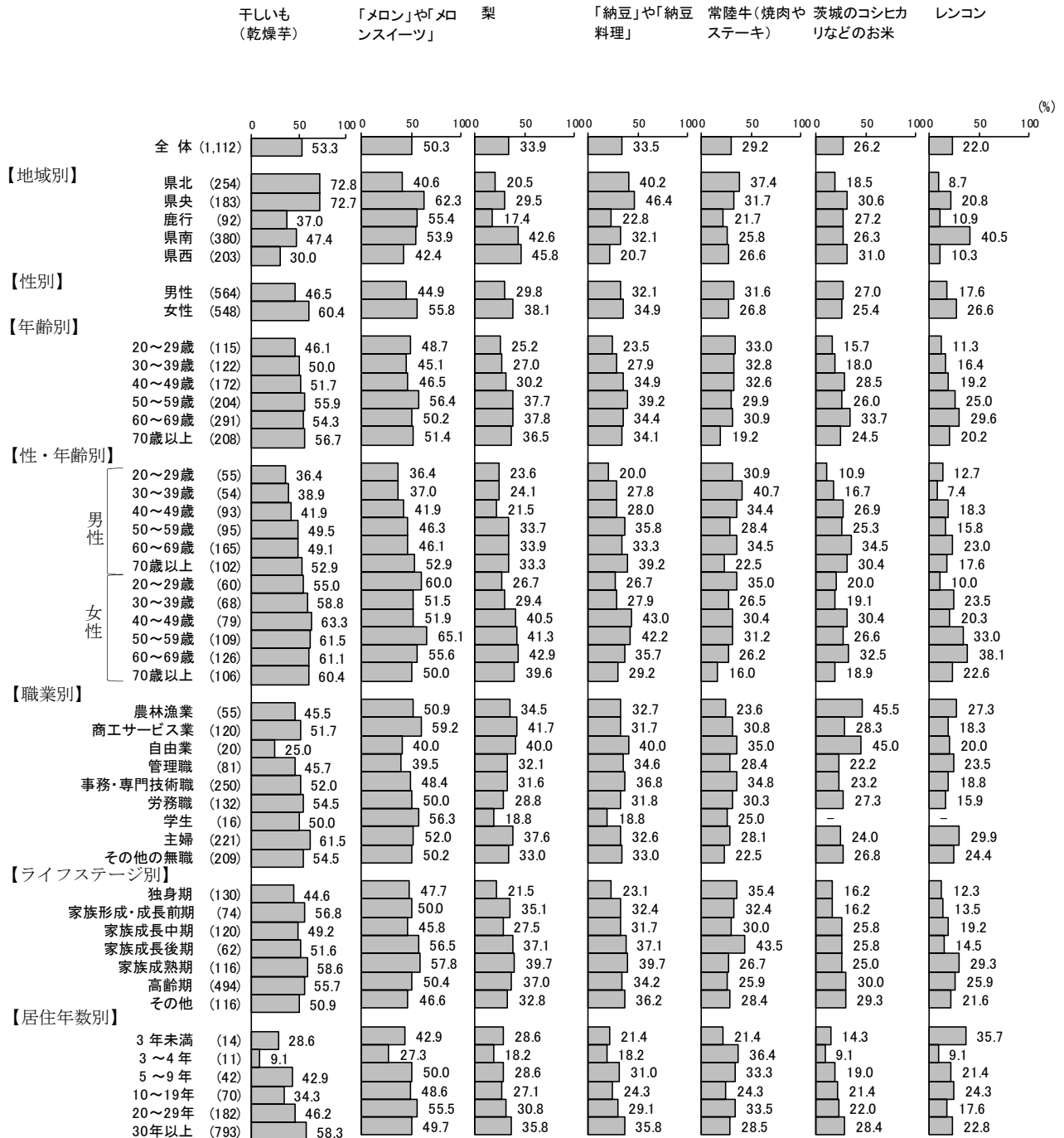
ー女性の40代、50代、60代、70歳以上で「梨」が約4割ー

性・年齢別でみると、「梨」は、女性の40代（40.5%）、50代（41.3%）、60代（42.9%）、70歳以上（39.6%）で約4割と高くなっている。

ー男性の30代で「常陸牛（焼肉やステーキ）」が約4割ー

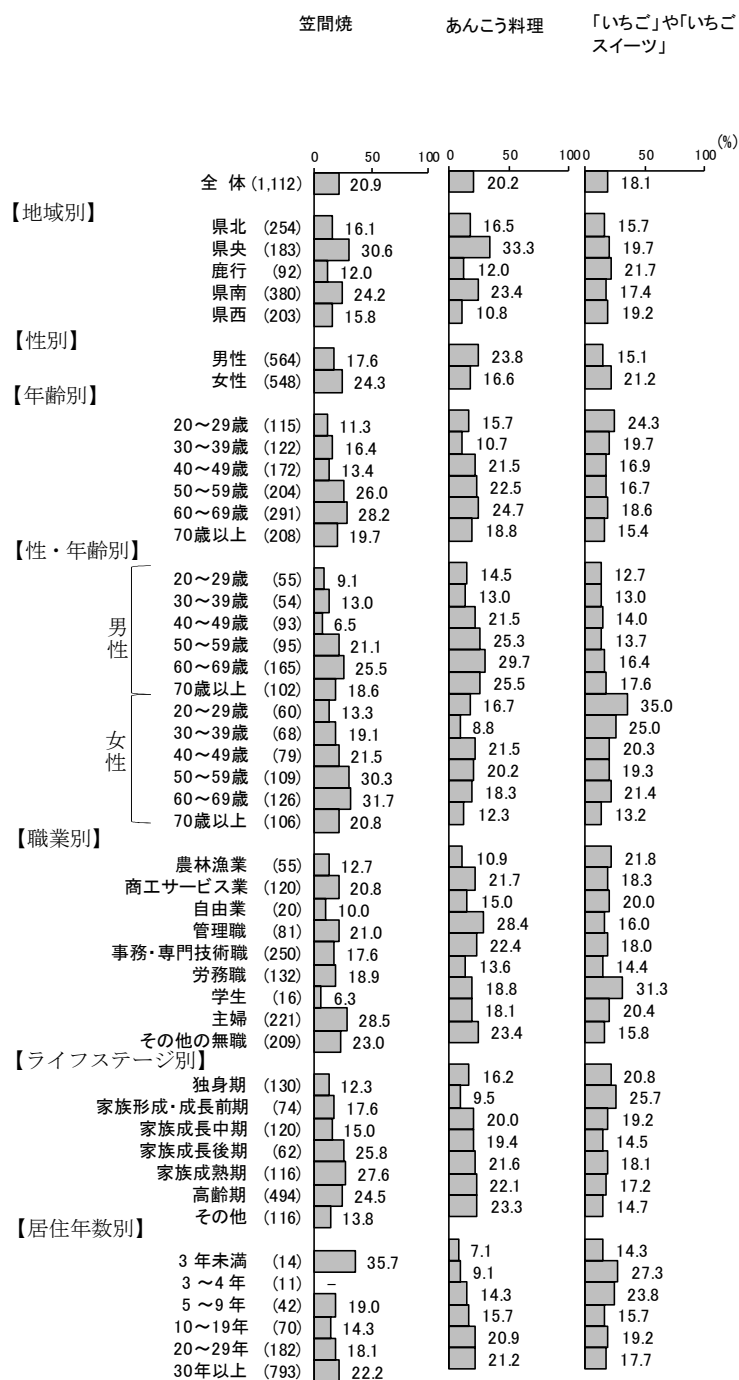
性・年齢別でみると、「常陸牛（焼肉やステーキ）」は、男性の30代（40.7%）で約4割と最も高くなっている。

図Ⅱ 5-1 自分で購入したり、家族や知人に薦めたい食べ物やお土産
(地域別, 性別, 年齢別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位10項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

〈続き〉 図Ⅱ 5-1 自分で購入したり、家族や知人に薦めたい食べ物やお土産
 (地域別, 性別, 年齢別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位10項目)

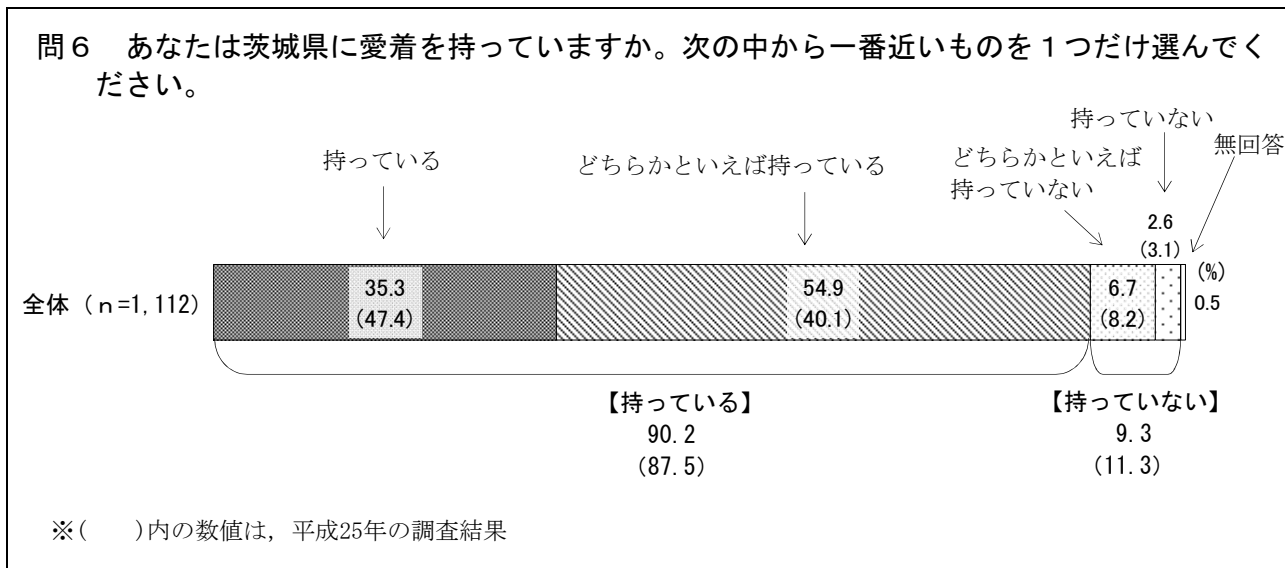


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

2. 茨城県に対する愛着

(1) 茨城県に対する愛着の有無

－【持っている】が約9割－



茨城県に対して、愛着を「持っている」(35.3%)と「どちらかといえば持っている」(54.9%)を合わせた【持っている】(90.2%)が約9割となっている。一方、「どちらかといえば持っていない」(6.7%)と「持っていない」(2.6%)を合わせた【持っていない】(9.3%)は約1割となっている。

－【持っている】が約3ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【持っている】が約3ポイント増加している。一方、【持っていない】が2ポイント減少している。

－県北と県央で【持っている】が9割台半ば－

地域別でみると、【持っている】は、県北(94.1%)と県央(94.6%)で9割台半ばと高くなっている。

－男女ともに【持っている】が高い－

性別でみると、【持っている】は、特に大きな差はみられない。

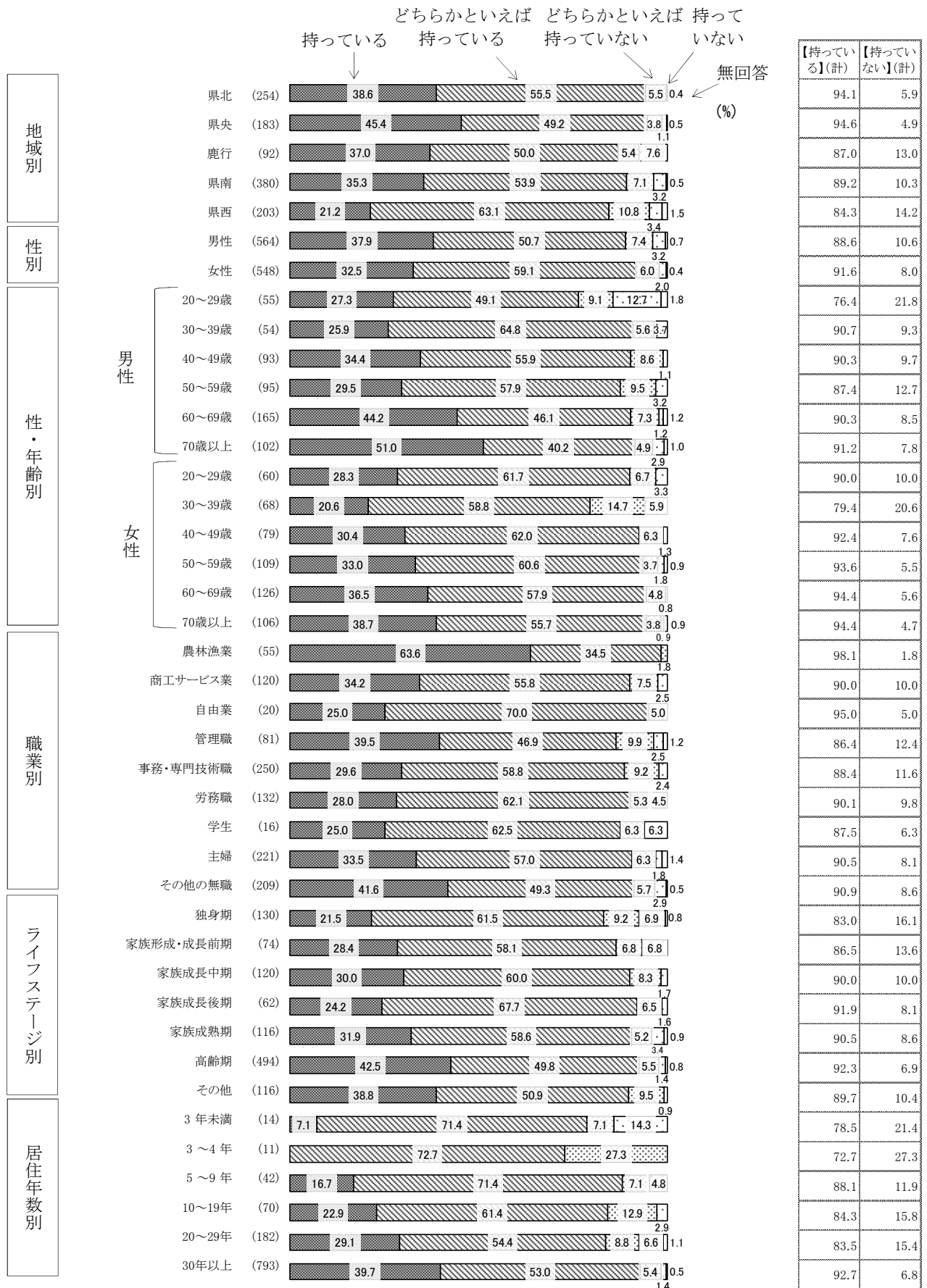
－女性の50代、60代、70歳以上で【持っている】が9割台半ば－

性・年齢別でみると、【持っている】は、女性の50代(93.6%)、60代(94.4%)、70歳以上(94.4%)で9割台半ばと高くなっている。

－農林漁業で【持っている】が9割台後半－

職業別でみると、【持っている】は、農林漁業(98.1%)で9割台後半と最も高くなっている。

図Ⅱ 6-1 茨城県に対する愛着の有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

<愛着を「持っている」と問3, 問4, 問5の選択数との関係>

—愛着を「持っている」は、「自慢したいもの」、「連れて行きたいところ」、「お薦めしたい食べ物やお土産」の数に応じて、概ね増加している—

○問3「知人に自慢したいもの」の数別の分析

愛着を「持っている」は、自慢したいものの数が6個～10個(43.2%)で県全体(35.3%)を超えて4割台半ば、16個～20個(63.0%)で6割台半ば、21個以上(70.0%)で7割と、数に応じて増加している。

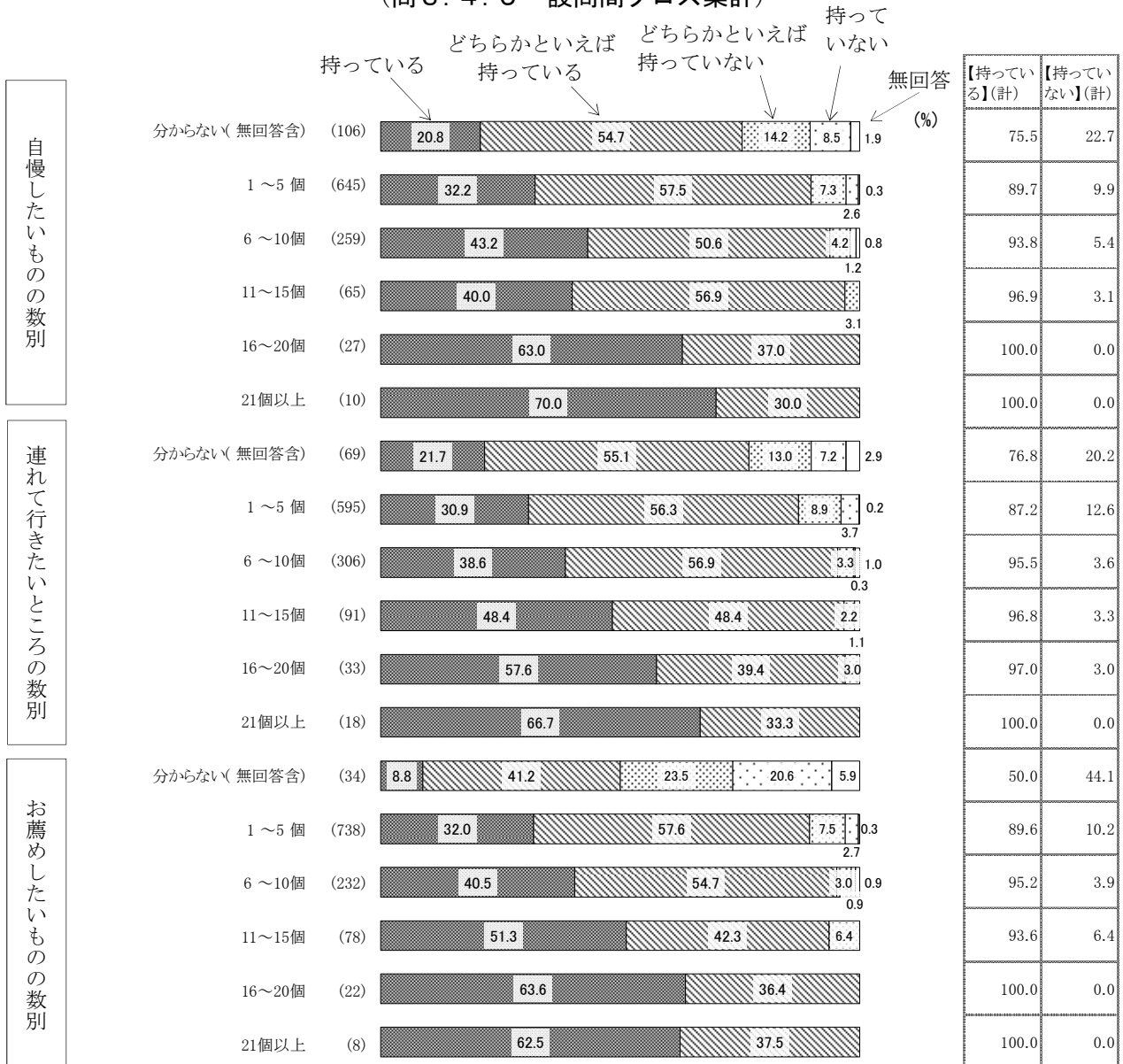
○問4「自分で行きたいところや家族や知人を連れて行きたいところ」の数別の分析

愛着を「持っている」は、連れて行きたいところの数が6個～10個(38.6%)で県全体(35.3%)を超えて約4割、16個～20個(57.6%)で約6割、21個以上(66.7%)で6割台半ばと、数に応じて増加している。

○問5「自分で購入したり、家族や知人にお薦めしたい食べ物やお土産」の数別の分析

愛着を「持っている」は、お薦めしたいものの数が6個～10個(40.5%)で県全体(35.3%)を超えて約4割、16個～20個(63.6%)と21個以上(62.5%)で6割台となっている。

図Ⅱ 6-2 茨城県に対する愛着の有無
(問3.4.5 設問間クロス集計)



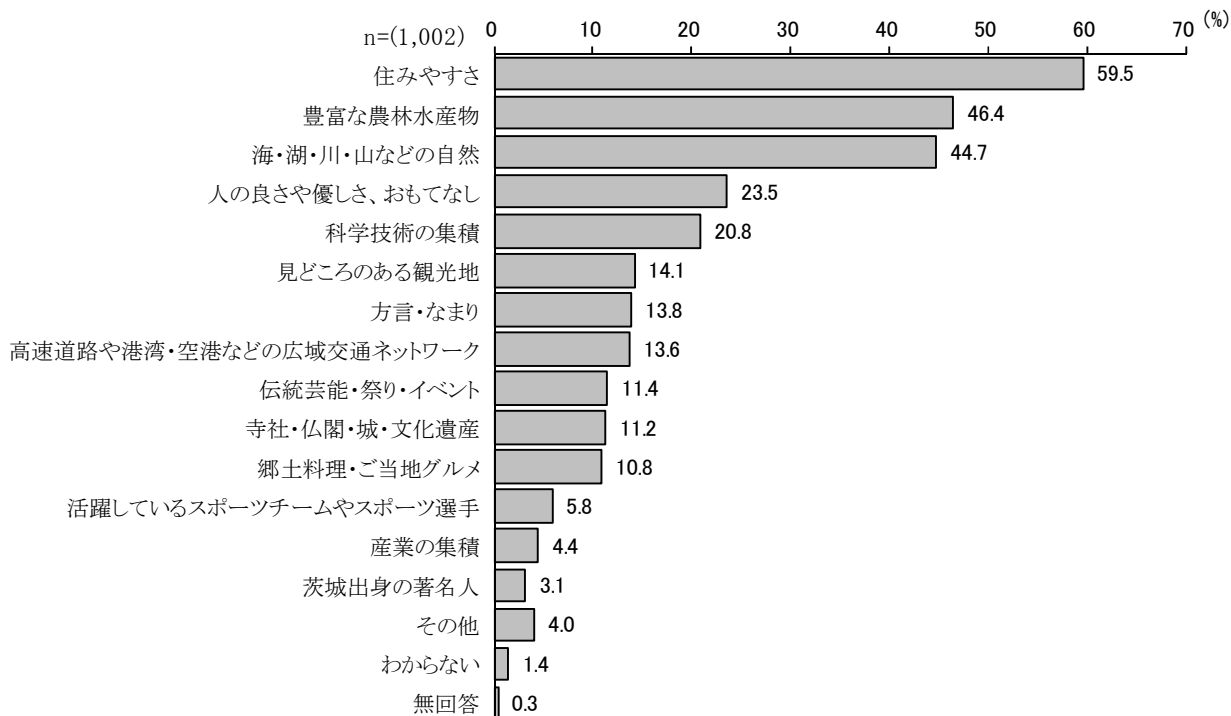
(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 茨城県に愛着を感じるどころ

－「住みやすさ」が約6割－

(問6で「1. 持っている」「2. どちらかといえば持っている」と回答した方のみ)

問6-1 あなたは、茨城県のどのようなところに愛着を感じますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



茨城県に愛着を【持っている】と回答した方に、愛着を感じるどころを聞いたところ、「住みやすさ」(59.5%)が約6割と最も高く、次いで、「豊富な農林水産物」(46.4%)、「海・湖・川・山などの自然」(44.7%)が4割台で続いている。

－県北で「住みやすさ」が6割台半ば－

地域別でみると、「住みやすさ」は、県北(66.1%)で6割台半ばと最も高くなっている。また、「海・湖・川・山などの自然」も、県北(52.7%)で5割を超えて最も高くなっている。

－県央と県南で「豊富な農林水産物」が5割台前半－

地域別でみると、「豊富な農林水産物」は、県央(53.8%)と県南(52.2%)で5割台前半と高くなっている。

－男性で「海・湖・川・山などの自然」が女性よりも約6ポイント高い－

性別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、男性(47.6%)が女性(41.8%)よりも約6ポイント高くなっている。一方、「住みやすさ」は、女性(62.2%)が男性(56.8%)よりも約5ポイント高くなっている。

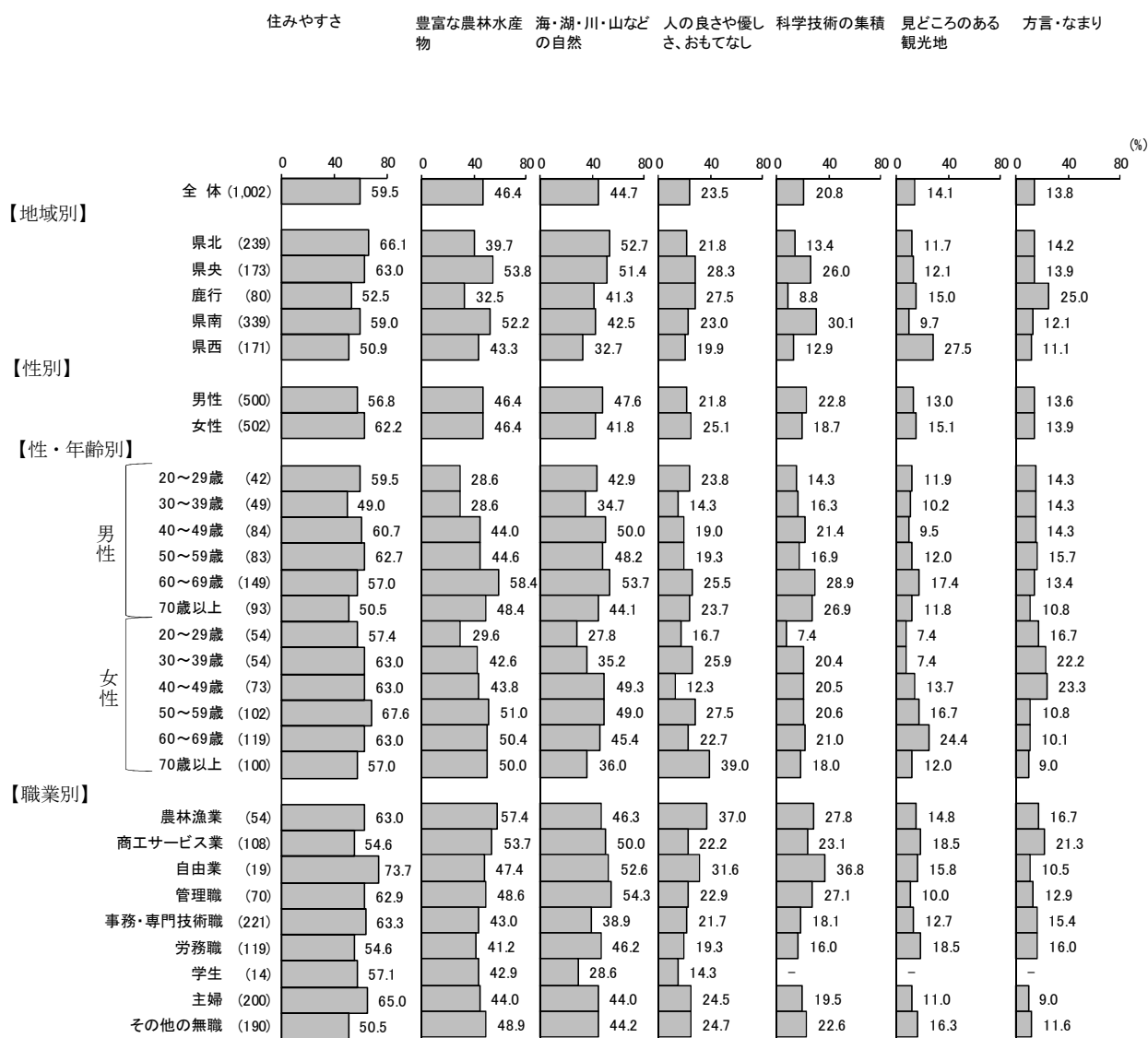
－女性の50代で「住みやすさ」が約7割－

性・年齢別でみると、「住みやすさ」は、女性の50代(67.6%)で約7割と最も高くなっている。

－男性の60代で「豊富な農林水産物」が約6割－

性・年齢別でみると、「豊富な農林水産物」は、男性の60代(58.4%)で約6割と最も高くなっている。

図Ⅱ 6-1-1 茨城県に愛着を感じるどころ
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)

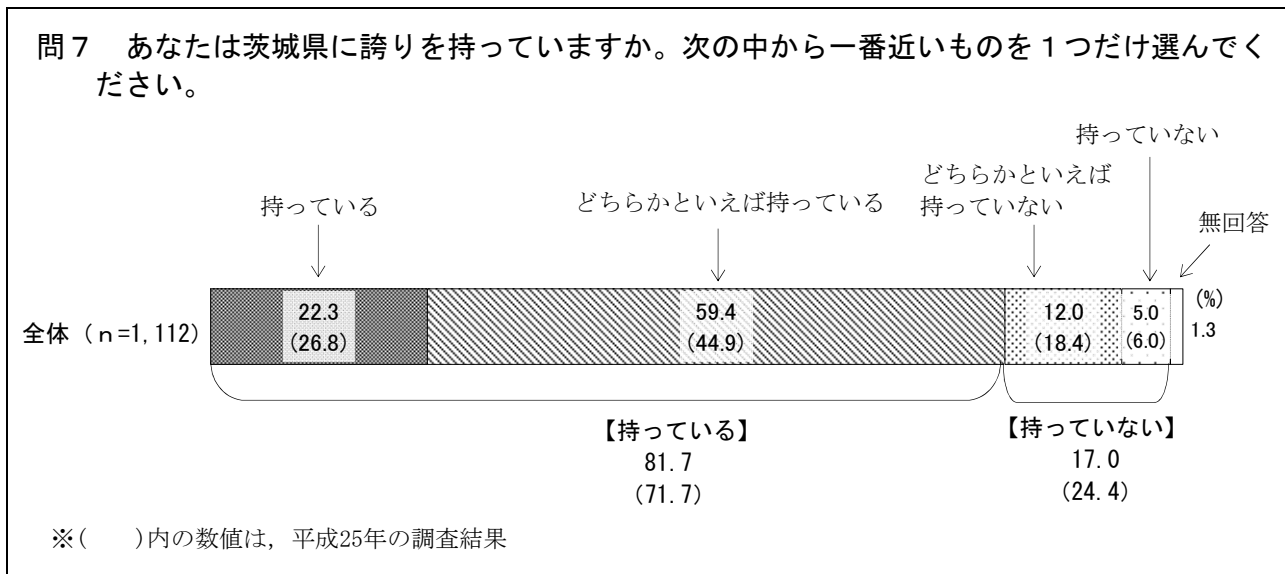


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

3. 茨城県に対する誇り

(1) 茨城県に対する誇りの有無

－【持っている】が8割超－



茨城県に対して、誇りを「持っている」(22.3%)と「どちらかといえば持っている」(59.4%)を合わせた【持っている】(81.7%)が8割を超えている。一方、「どちらかといえば持っていない」(12.0%)と「持っていない」(5.0%)を合わせた【持っていない】(17.0%)は、約2割となっている。

－【持っている】が10ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、【持っている】が10ポイント増加している。一方、【持っていない】が約7ポイント減少している。

－県央と鹿行で【持っている】が8割台半ば－

地域別でみると、【持っている】は、県央(85.8%)と鹿行(85.8%)で8割台半ばと高くなっている。

－男女ともに【持っている】が高い－

性別でみると、【持っている】は、特に大きな差はみられない。

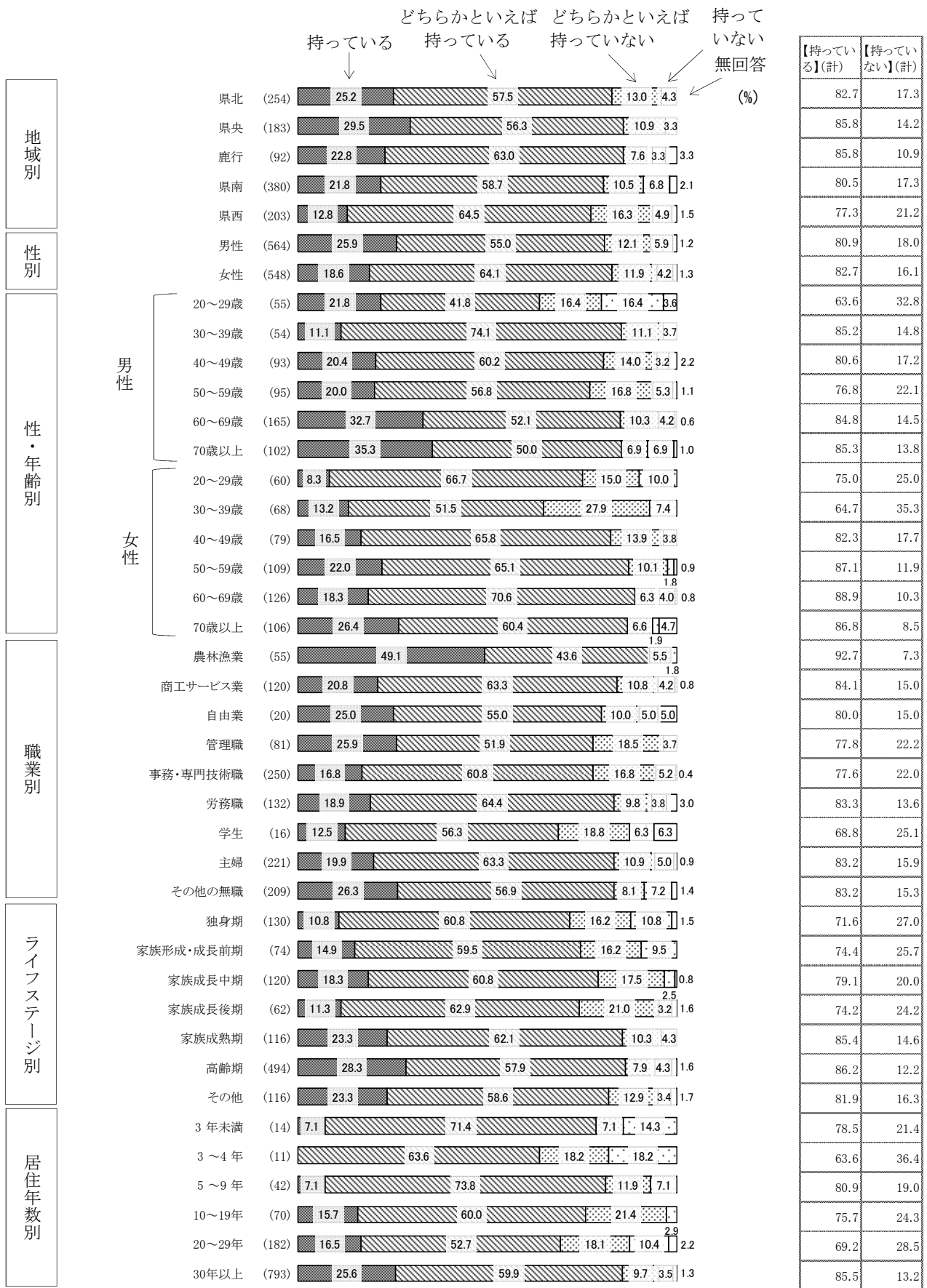
－女性の50代、60代、70歳以上で【持っている】が8割台後半－

性・年齢別でみると、【持っている】は、女性の50代(87.1%)、60代(88.9%)、70歳以上(86.8%)で8割台後半と高くなっている。

－農林漁業で【持っている】が9割超－

職業別でみると、【持っている】は、農林漁業(92.7%)で9割を超えて最も高くなっている。

図Ⅱ 7-1 茨城県に対する誇りの有無
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別、居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

<誇りを「持っている」と問3, 問4, 問5の選択数との関係>

— 誇りを「持っている」は, 「自慢したいもの」, 「連れて行きたいところ」, 「お薦めしたい食べ物やお土産」の数に応じて, 概ね増加している —

○問3「知人に自慢したいもの」の数別の分析

誇りを「持っている」は, 自慢したいものの数が6個~10個(27.4%)で県全体(22.3%)を超え, 16個~20個(51.9%)と21個以上(50.0%)で5割台と高くなっている。

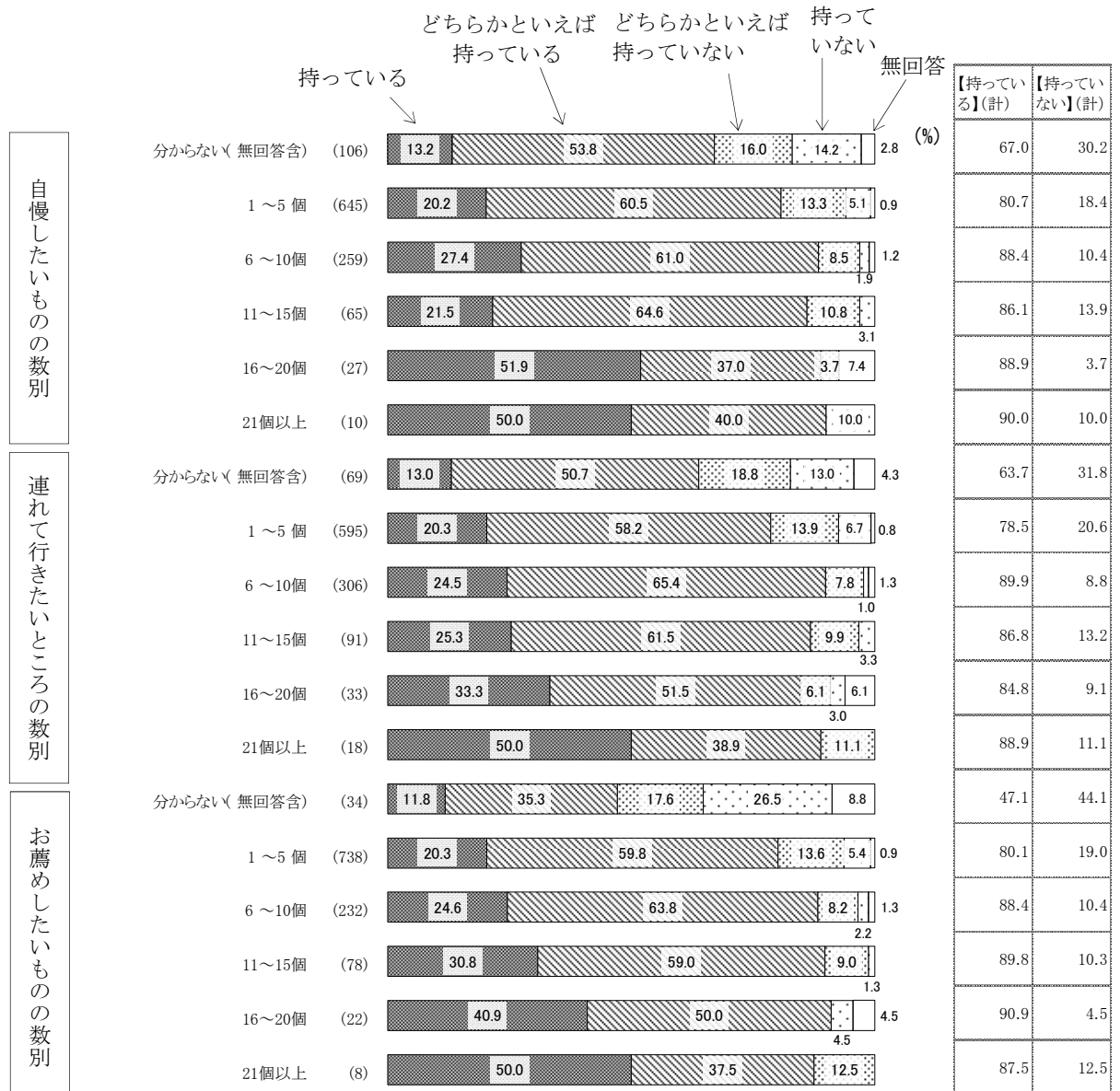
○問4「自分で行きたいところや家族や知人を連れて行きたいところ」の数別の分析

誇りを「持っている」は, 連れて行きたいところの数が6個~10個(24.5%)で県全体(22.3%)を超え, 16個~20個(33.3%)で3割台半ば, 21個以上(50.0%)で5割と, 数に応じて増加している。

○問5「自分で購入したり, 家族や知人にお薦めしたい食べ物やお土産」の数別の分析

誇りを「持っている」は, お薦めしたいものの数が6個~10個(24.6%)で県全体(22.3%)を超え, 16個~20個(40.9%)で約4割, 21個以上(50.0%)で5割と, 数に応じて増加している。

図Ⅱ 7-2 茨城県に対する誇りの有無
(問3.4.5 設問間クロス集計)



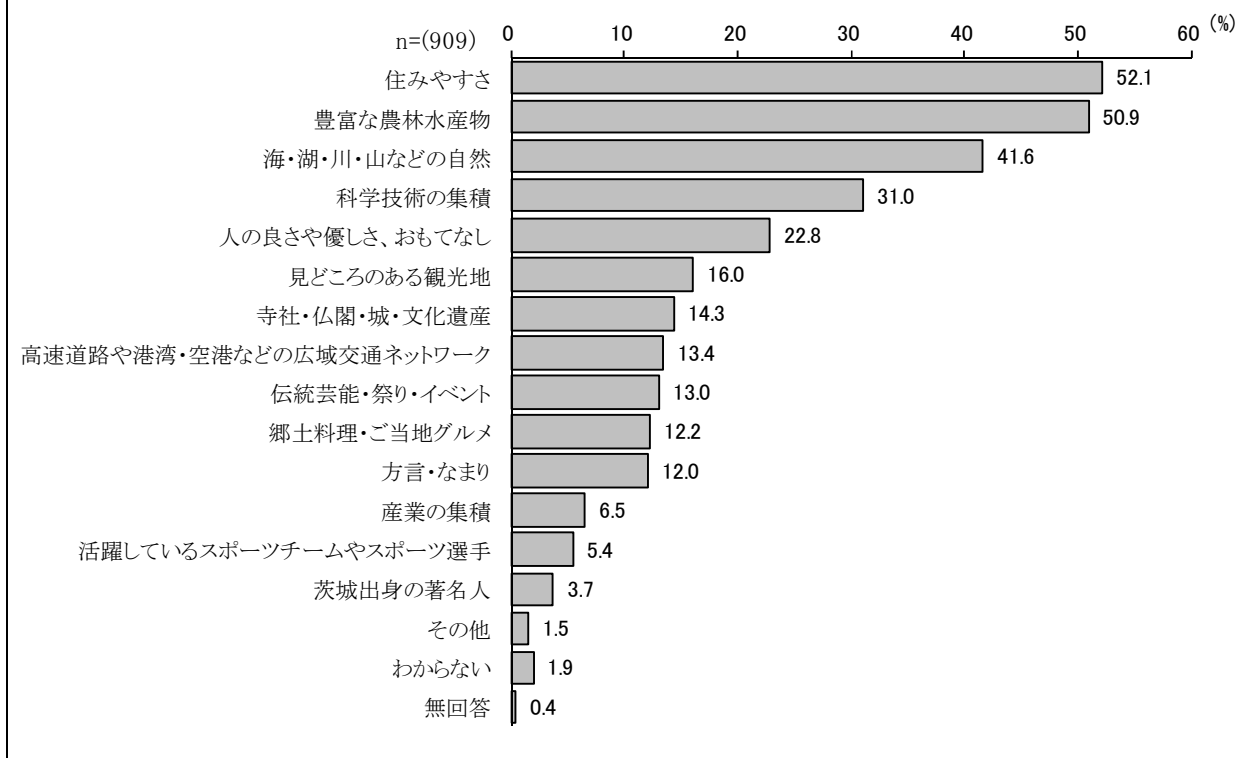
(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 茨城県に誇りを感じるどころ

－「住みやすさ」と「豊富な農林水産物」が約5割－

(問7で「1. 持っている」「2. どちらかといえば持っている」と回答した方のみ)

問7-1 あなたは、茨城県のどのようなところに誇りを感じますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



茨城県に誇りを【持っている】と回答した方に、誇りを感じるどころを聞いたところ、「住みやすさ」(52.1%)と「豊富な農林水産物」(50.9%)が約5割と高く、次いで、「海・湖・川・山などの自然」(41.6%)が4割台、「科学技術の集積」(31.0%)が3割台で続いている。

－県北で「住みやすさ」が約6割－

地域別でみると、「住みやすさ」は、県北(58.1%)で約6割と最も高くなっている。また、「海・湖・川・山などの自然」は、県北(48.6%)で約5割と高くなっている。

－県央と県南で「豊富な農林水産物」が5割台後半－

地域別でみると、「豊富な農林水産物」は、県央(56.7%)と県南(58.2%)で5割台後半と高くなっている。

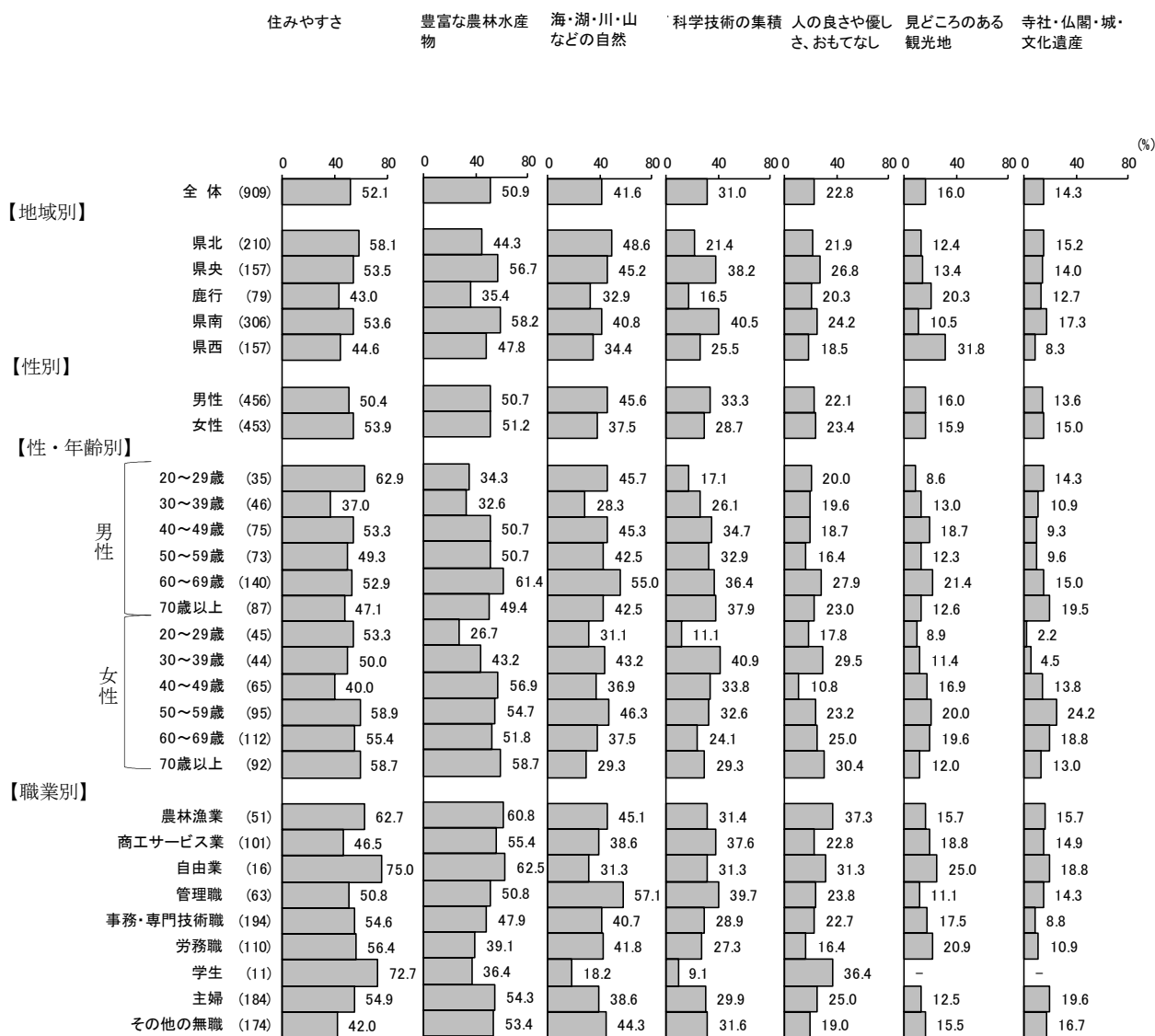
－男性の20代で「住みやすさ」が6割超－

性・年齢別でみると、「住みやすさ」は、男性の20代(62.9%)で6割を超えて最も高くなっている。

－男性の60代で「豊富な農林水産物」が6割超－

性・年齢別でみると、男性の60代で、「豊富な農林水産物」(61.4%)が6割を超えて最も高く、次いで、「海・湖・川・山などの自然」(55.0%)が5割台半ばと高くなっている。

図Ⅱ 7-1-1 茨城県に誇りを感じるところ
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。